

Light

Vol.4
2025. 1



特集

骨リエゾンチーム -骨粗しょう症の治療を多職種でサポート-
先輩患者さんのご家族に聞いてみました

コラム

年頭所感
病診連携

新職員紹介
ぷちっとリハ

近況報告
研究成果報告

より良い医療のためのご支援をいただきました！



当センターでは、個人・団体を問わず皆さまからのご寄付・ご支援を受け付けております。ご寄付・ご支援に関してのお問い合わせは総合受付にお申し出いただくかホームページをご覧ください。

森田記念福祉財団様より小児リハビリテーション訓練遊具の購入に対しご寄付をいただきました。11月12日(火) 寄贈式を実施し院長から森田理事長へ感謝状の贈呈を行いました。「リハビリテーションを必要とするお子さんやそのご家族へ支援ができれば嬉しく思います。また、新たな訓練遊具により医療従事者の皆さんが安心して訓練に従事できるのをご安心してお役を立てることを心から嬉しく思います。」と、森田理事長より温かなお言葉をいただきました。



新しい訓練遊具でのリハビリテーション

小児作業療法では、お子さんの生活が豊かになることを目標に、遊びを用いた発達促進を行っています。今回いただきましたご寄付により、多くの遊具が新たに訓練室へ加わりました。遊具における安全性が高まったことと、これまで以上にお子さんへ提供できる治療の選択肢が広がったことを職員一同心より感謝しております。今後も多くのお子さんご家族の笑顔を作っていく場所であるよう努めていきます。



佐藤 夏紀
Sato Natsuki
リハビリテーション科
作業療法士
小児部門作業療法の
リハビリテーション
業務に従事

謹賀新年



あけましておめでとうございます
皆さまにおかれましてはお健やかに新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます
令和7年の年頭にあたり謹んでご挨拶申し上げます



川手 健次
Kawate Kenji
院長・整形外科医
専門分野：股関節

昨年は元日に能登半島地震が起こり、8月8日宮崎県日向灘の地震で南海トラフ地震臨時情報が流され、南海トラフ地震発生の現実味を帯びてまいりました。7月に秋田を中心とする東北で、加えて9月には能登半島で豪雨災害があり尊い命が失われました。

地球規模で見ると気温上昇による気候変動をなんとか抑止しなければなりません。昨年12月21日にNHKで放送された新プロジェクトX「能登半島炊き出し10万食～地震と豪雨 地元を支えた食の力～」のように神社が全壊した神職、店が全壊したフランス料理店主、和食店主、魚屋さん、味噌職人等々、一般の方々が今必要なことは被災された方への食事だと判断し、孤立した輪島で食材を持ち寄り結集しておにぎりやスープの炊き出しを3月いっぱいまでされました。そして9月の豪雨には再結集して炊き出しされるなどの姿を拝見し涙が出てきました。さらに、豪雨で再度土砂まみれになった和食店を広島ボランティアが助けてくれるなど、人のあたたかさを感じました。

今年はどうか災害が起こらないことを祈りますが、起きた時に臨機応変に動けるか、日頃の備えは万全か、当センターの近隣の地域住民との絆を築くことができるかなど、本気で考える必要があります。

患者さんお一人おひとりに温かみのある医療提供を行い、地域の皆さまから愛される病院を目指してまいります。新しい一年も引き続きご支援いただきますようよろしくお願い申し上げます。



松田隆志
Matsuda Takashi
内科医師

新職員紹介

患者さん一人ひとりに寄り添い、安心してリハビリや日々の生活を送れるよう全力でサポートします。



骨リエゾン チーム

奈良県総合リハビリ
テーションセンター

いつものまにかの骨折や
寝たきりにならない
毎日をいきいきと
元気に過ごす
骨粗しょう症患者さんを
サポートするチームです



骨粗しょう症は高齢者や閉経後の女性、運動不足な方、遺伝子や生活習慣によりリスクが高まります。

骨粗しょう症になると骨折しやすくなり、年齢に関係なく、骨折後寝たきりになることがあります。

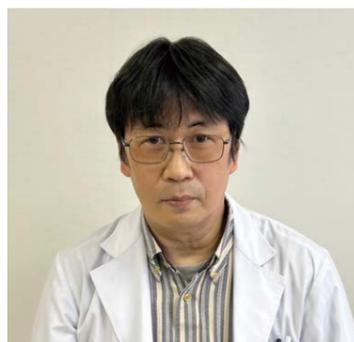
骨粗しょう症は自覚なく進行していきます。

骨密度を測ることで、骨折の危険性を把握できます。

ご自身の骨密度を測定し、骨密度低下を予測しておくことも重要です。

骨粗しょう症に不安のある方は、まずご相談ください。

当センターではチームで患者さんの治療や生活のアドバイスを行っております。



古田 和彦
Furuta kazuhiko
整形外科部長
専門分野：
手外科・四肢外傷
骨リエゾンチーム
チームリーダー



理学療法士
運動の習慣化をサポート



放射線技師
まずは骨密度検査

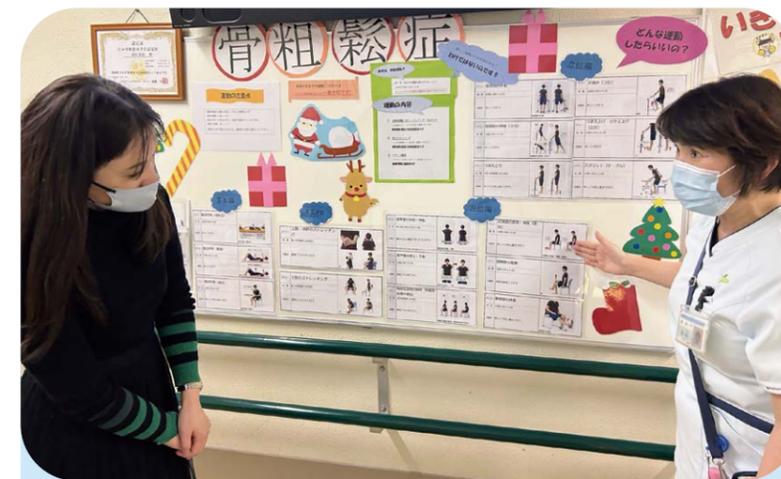


薬剤師 (骨粗鬆症マネージャー取得)
お薬についてサポート



管理栄養士
お食事のアドバイス

医療スタッフがチームで
治療をサポートします



外来では、骨粗しょう症の患者さんや骨粗しょう症に不安のある方に対して看護師が予防や治療について説明いたします。

「吃音があっても希望を持てる 未来があること」を伝えていきたい



コラム：先輩患者さんのご家族に聞いてみました

高原 千里さん

(きつおんの子どもを持つ保護者の会代表)

「奈良きつおんの子どもを持つ保護者の会」のメンバーで、自身も吃音の長男を持ち活動。

保護者の会は、奈良県総合リハビリテーションセンターの言語聴覚士の協力のもと、2017年3月に設立。

「保護者の会」と「親子交流会」の年2回開催。

お問い合わせ：kitsuon.nara@gmail.com

当センターでは、職員が患者さんの思いに寄り添う医療提供を大切にしております。多くの患者さんへ先輩患者さんの物語をお伝えすることで皆さまの思いが和らぎ治療への光となることを願います。

「ひとりで悩まなくていいんだよ。いつでも相談してね」のメッセージを大切に

吃音は100人に1人はいると言われ、①連発『あ・あ・あ・あがとう』②伸発『あーあーあがとう』③難発『・・・っありがとう』の3種類の症状があります。ただし不便なだけと軽く思われがちですが、言いたいことが伝えられないもどかしさは当事者には絶望的に感じ、誰にも相談できずに学校や社会から孤立しやすくなるという問題があります。

長男は3歳頃から軽い吃音があり、中学に入り急激に難発まで悪化しました。上手くコミュニケーションが取れないことで学校生活に支障をきたし「どうやってたら治るねん」と本人も言うようになりました。色々なところへ問い合わせましたが『中学生では遅い』『母親の愛情不足』と言われ、病院でも『専門外』と診てもらえませんでした。それほど世間での吃音の認知度は低く正しい情報すら得られませんでした。そんな中、ようやく小児科からの紹介で奈良県総合リハビリテーションセンターでリハビリが開始されました。そこで初めて「つまってもいいよ」と言語聴覚士の先生に言われ、長男はつまりながらも楽しそうに先生と話していました。私は「吃音をゼロにしたい」と思っていた気持ちから、徐々に吃音との付き合い方を考えるようになりました。長男はリハビリを続ける中で症状が緩和し高校生の時にリハビリを卒業しました。

その後、担当の言語聴覚士の先生から「吃音の子どもを持つ保護者の会」を立ち上げたいので手伝ってもらえませんか」と声をかけられ、保護者の会の活動を始めました。会では、言語聴覚士から吃音の正しい知識を学び、座談会では悩みを共有します。私は会のおわりに『帰ったら吃音の保護者の会に参加してきたよと、お子さんに伝えてください』といつも話します。それが親子で吃音の事を話すきっかけになるし『ひとりで悩まなくていいんだよ。いつでも相談してね』という保護者から子どもへのメッセージにもなると思っています。また、子ども時代にも自分の吃音をどう思えるかがその後の人生に大きく影響すると感じています。子どもの気持ちを楽しめるには、まずは保護者の気持ちになる事。そして子ども達に「吃音は悪いことではないと、吃音があっても絶望でなく希望を持てる未来があること」を伝えることが一番大切だと思っています。

院長が地域を訪問!



クリニック内の
リハビリテーション室



診療科 整形外科・リハビリテーション科・リウマチ科
住所 奈良県橿原市小綱町5-44 電話番号 0744-23-6200



▽道路に面していないので、初めての患者さんには隠れ家的な病院になってしまおうのですが、との話から玉井院長の思いやりが伝わります。たま整形外科の場所は、クスリのアオキ八木店の反対側、側道に入った所です。



骨密度測定機器



<https://www.tamai-seikei.com/>

「貴院の特徴を教えてください」
患者さんの痛みに寄り添い丁寧な診察・治療を行っており、医師・看護師・理学療法士のチームワークが良いのが特徴です。
理学療法士が3名おり日々の痛みや生活場面のお困りごとを確認し、ストレッチや筋力の強化などを中心としたリハビリテーションを提供しているのも特徴です。
「院長のモットーもしくは好きな言葉を教えてください」
モットーは、患者さんの希望される生活に合ったオーダーメイドの治療方法を提供することです。
身体、病状、望まれる生活は患者さんお一人おひとり異なります。わかりやすい説明を心がけ、お話を伺いながら、より良い治療の提案に努めています。
「地域の皆さまへメッセージ」
地域のクリニックとして整形外科疾患にかかわらず、体調についてお悩みがあればお気軽にご相談ください。皆さまの健康な暮らしを支えたいと願っております。

クリスマス2024 - 患者さんの入院生活を豊かに -

患者さんに季節を感じる機会をと毎年センター中庭を中心にクリスマスイルミネーションを設置しています。また、12月25日はクリスマスメニューのお食事を提供したり、院長サンタクロースが病棟に登場するイベントを開催したりと患者さんに楽しんでいただける取り組みを行いました。



院長サンタの登場に患者さんも笑顔



クリスマスのランチメニュー

県民公開講座

今年度も地域の皆さまに向けた医療講座を開催しました

10月19日(土)に、田原本生涯学習センター弥生の里ホールにて、令和6年度奈良県総合リハビリテーションセンター県民公開講座を開催いたしました。

今年度は、世界骨粗鬆症デーの前日でもあり、当センターの整形外科医伊藤医師より「明日から使える骨を強くするコツ」や理学療法士による「股関節の痛みを予防しよう」、また特別講演では多くの書籍を執筆されている宮田重樹医師による「こけて要介護・寝たきりにならない最善策」などの講座を実施いたしました。地域の方163名にご参加いただき、どの講座も好評でした。最後には、田原本ジュニアバンドJ-Wingsの演奏もあり盛況のうちに終わることができました。



骨粗鬆症の講座に皆さん興味津々



理学療法士と共に体操!



宮田重樹医師のユーモアたっぷりの講座



田原本ジュニアバンド演奏♪

出前講座もご好評いただいております

地域の皆さまの健康維持・介護のお困りごとに役立つ情報を提供するため、当センター医療スタッフがご希望の会場にお邪魔して講座を行います。今年度も公民館など15会場へ伺い地域の皆さまに喜んでいただいております。

申込：当センターホームページより Web 専用フォームもしくは申込書 FAX
お問合せ：奈良県総合リハビリテーションセンター総務課 (平日9時～17時)

日常生活動作の評価方法をスタッフ間で統一

入院患者さんの日常生活動作を評価する方法に FIM(Functional Independence Measure) というのがあります。FIM 評価は、評価方法の理解や習得が難しくスタッフによってばらつきが生じやすい問題点を抱えていました。谷車理学療法士・坂野作業療法士・二塚看護師らのチームが、エクセルを活用し評価者間のばらつきを減らす仕組みを構築し運用を開始しました。この結果は、2025年2月21-22日に札幌で開催される「回復期リハビリテーション病棟協会 第45回研究大会」で発表予定です。



2024年4月～12月の学会発表実績

日々の臨床での成果を対外的に発表することで自身の医療を振り返り、よりよいサービス提供を目指しています。

学会
発表



2024年9月
第15回奈良県作業療法学会
作業療法士 森岡志帆
作業療法士 鈴木わみ



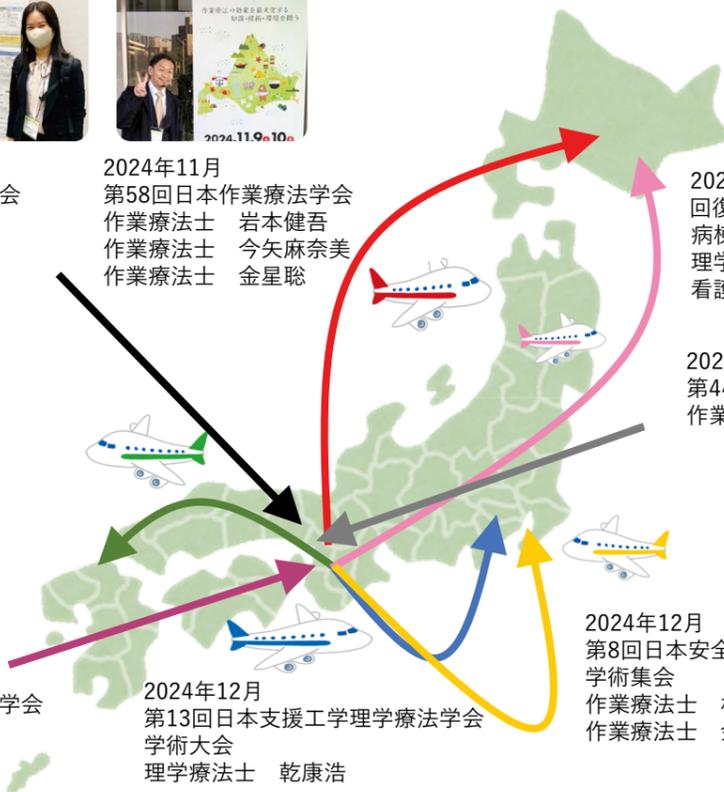
2024年11月
第58回日本作業療法学会
作業療法士 岩本健吾
作業療法士 今矢麻奈美
作業療法士 金星聡



2025年2月(予定)
回復期リハビリテーション
病棟協会第45回研究大会
理学療法士 谷車奨
看護師 平井亜紀保



2024年9月
第22回日本神経理学療法
学会学術大会
理学療法士 乾康浩



2024年6月
第44回近畿作業療法学会
作業療法士 松本佳純



2024年12月
第8回日本安全運転医療学会
学術集会
作業療法士 林朋一
作業療法士 金星聡

2024年8月
第33回奈良県理学療法士学会
理学療法士 篠宮健

2024年12月
第13回日本支援工理学療法学会
学術大会
理学療法士 乾康浩

すきま時間に
ぷちっとリハ! 自宅でできる簡単トレーニング

— かかとあげ運動 —



Point!
ゆっくり
あげおろし

必要なもの：食卓テーブル
(廊下の手すりがあればそちらでも可)

- ①食卓テーブルに正面から向かい両手を置く
- ②体を頭から足首までできるだけまっすぐにして立つ
- ③ゆっくりかかとをあげる (体は前後に傾かないように)
- ④ゆっくりかかとをおろす

- * できる回数から、まずは10回を目標に♪
- * 痛みが出ない範囲で実施してください
- * 体がまっすぐであることを意識しながら
- * ふくらはぎに力が入っている感じがわかると◎
- * 転倒には注意しましょう

この運動を実施することで特にふくらはぎの筋肉を使用します。ふくらはぎの筋肉は、歩く時に地面をける力や立つバランスに関係しています。普段からの運動で、よりバランスのとりのやすいからだをつくっていきましょう。



高田 博史
Takata Hiroshi
リハビリテーション科
理学療法士
入院患者さんの
リハビリテーション
業務に従事

外来診療日程表

	月	火	水	木	金
内科	●		●	●	●
脳神経内科	●				●
整形外科	● (予約のみ)	● (午後) (第2・4週)	●	●	●
	●	●	●	●	●
専門外来 (午後)	(手外来) ●		(小児整形外科) ●		
	(小児整形外科) ●		●		
小児科 (予約制)	●	●	● (第2・4週)	●	●
	●	●	●	●	●
	● (第1・3・5週)	●		● (第2・4週)	
精神科 (予約制)	●	●	●	●	●
	●	●			●
リハビリテーション科		● (第1週)			
耳鼻咽喉科	●				●
泌尿器科			●		●
眼科		●			
放射線科	—	—	—	—	—

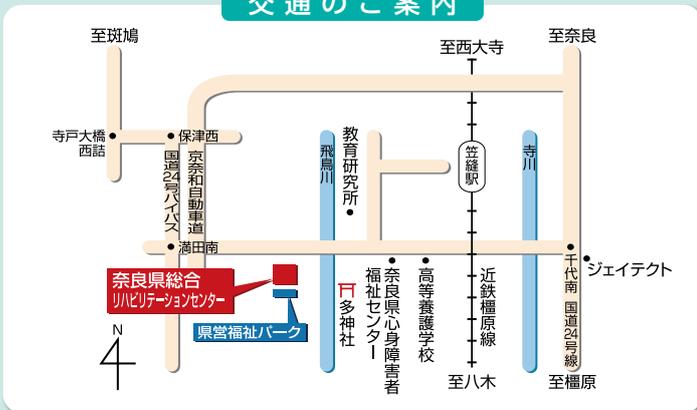
※ ● 男性医師 ● 女性医師

(令和7年1月現在)

受付時間			
ご予約のない方	内科・脳神経内科・整形外科・リハビリテーション科 耳鼻咽喉科・泌尿器科・眼科・放射線科		8時30分～11時30分
	手外来		13時00分～14時30分
	小児整形外科	月曜日	初診・再診
水曜日		再診	13時00分～15時00分
ご予約のある方	予約時間までに初診の方は総合案内、再診の方は再来機で受付をお願い致します。		

- ・受診時は、健康保険証もしくはマイナンバーカード・診察券等をお忘れなくご持参ください。
- ・交通事故及び業務上等の負傷等で受診される場合は必ずお申し出ください。

交通のご案内



交通機関

- 近鉄笠縫駅 1.3km 徒歩20分
- 近鉄田原本駅 タクシー 約10分
 ...リハビリセンター送迎バス 約10分
 (土・日・祝及び12/29～1/3は、連休)
- 近鉄大和八木駅 タクシー 約15分

送迎バス時刻表

時刻表	近鉄田原本駅発		リハビリセンター発	
8時	15	45	35	
9時	10	30 50	00	20 40
10時	10	30 50	00	20 40
11時	10	35 55	00	25 45
12時	15	35	05	25
13時	35	55	25	45
14時	15	35	05	25
15時	20	40	10	30
16時	20	40	10	30

地方独立行政法人 奈良県立病院機構

奈良県総合リハビリテーションセンター

〒636-0393

奈良県磯城郡田原本町大字多722番地

電話 0744 (32) 0200 (代)

FAX 0744 (32) 0208

<http://www.nara-pho.jp/reha/index.html>



令和7年1月 現在